

# 福島第一原子力発電所 使用済燃料乾式キャスク 仮保管設備蓋間圧力の一部測定不能について

< 参 考 資 料 >  
2 0 1 9 年 7 月 3 0 日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

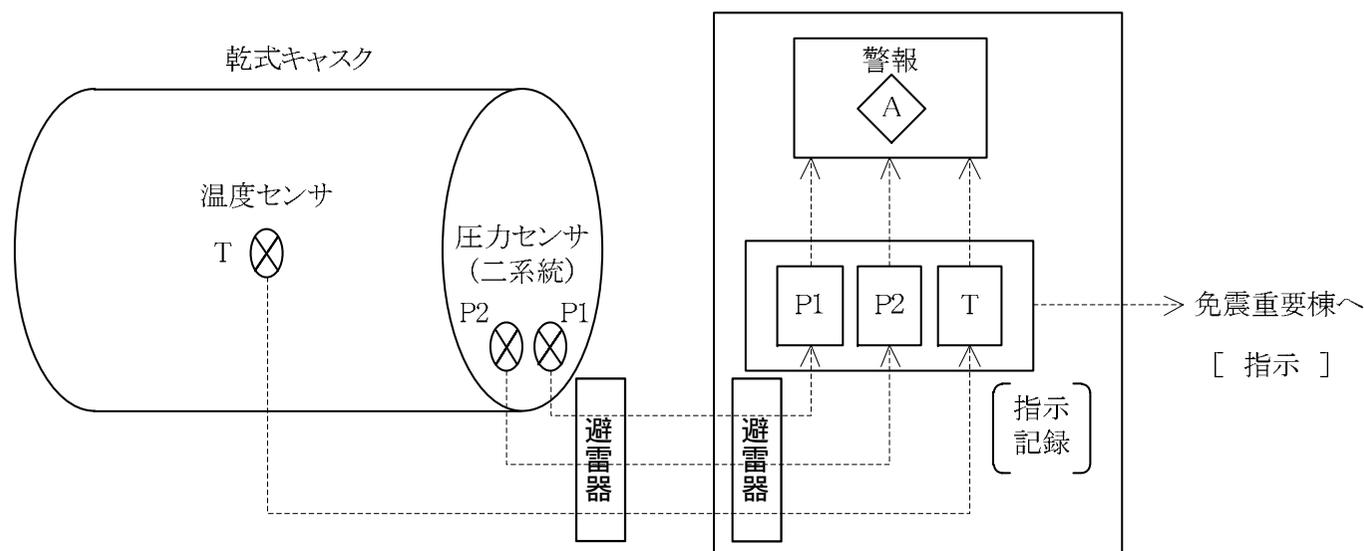
## 【時系列】

午後3時47分頃 落雷

午後3時47分頃 乾式キャスク仮保管設備の37基中7基のキャスク蓋間圧力が監視不能となったことを、乾式キャスク蓋間圧力異常の警報により当社社員が確認。

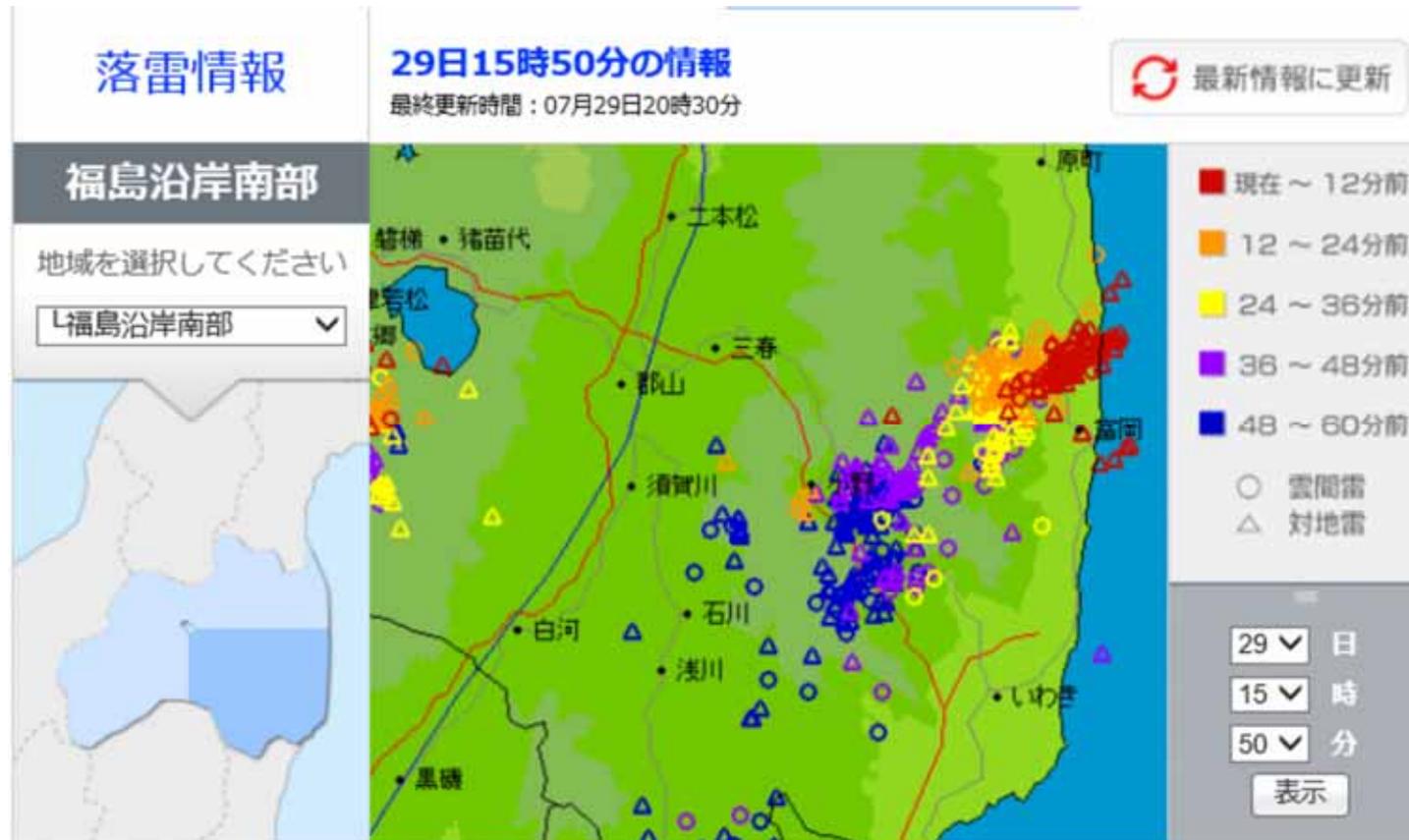
午後5時05分 ひずみ測定器により、異常値を示している圧力センサの不健全性確認開始。

午後8時25分 7基のキャスクについて確認を実施した結果、すべての圧力センサが異常値を示し、圧力センサが故障していることを確認終了。



キャスクおよびセンサー設置概略図

# 推定原因



当社HPより

計器故障発生時には、発電所周辺で雷が発生していたことから、この影響で異常な電流や電圧が計器に及んで故障したものと推測する。

なお、当該計測回路には避雷器が設置されていたものの、故障発生のメカニズムについては今後確認していく。

# 今後の対応について

---

## 対応1.

本日以降、計器が復旧されるまでの間、監視不能となった7基のキャスクについて仮設の圧力計による圧力確認を実施

## 対応2.

監視不能となった7基のキャスクについて、まず片系の計器を復旧。  
その後、残る片系の計器も復旧。



【構内配置図】